



2021年8月10日

各 位

会社名 株式会社 チェンジ  
 代表者名 代表取締役兼執行役員社長 福留 大士  
 (コード番号: 3962 東証第一部)  
 問合せ先 取締役兼執行役員CFO 山田 裕  
 (TEL. 03-6435-7347)

2021年9月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2021年5月13日に公表した2021年9月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2021年9月期 通期連結業績予想の修正 (2020年10月1日～2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益 ※1、2
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,781 ～ 16,281	5,071 ～ 5,571	5,008 ～ 5,508	3,272 ～ 3,599	3,296 ～ 3,623	49.20 ～ 54.08
今回修正予想(B)	15,500	5,812	5,749	3,757	3,769	53.93
増減額(B-A)	△281 ～ △781	740 ～ 240	740 ～ 240	484 ～ 157	472 ～ 145	
増減率%	△1.8 ～ △4.8	14.6 ～ 4.3	14.8 ～ 4.4	14.8 ～ 4.4	14.3 ～ 4.0	
(参考) 前期実績 (2020年9月期)	10,542	4,203	4,160	2,771	2,049	32.53

※1 当社は、2021年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で、株式分割を行っております。  
 2020年9月期の実績および2021年9月期の業績予想につきましては、それぞれ期首に当該株式分割

が行われたものと仮定し、基本的1株当たり当期利益を算定しております。

※2 当社は、2021年3月12日開催の取締役会決議により、2021年3月29日を払込期日とする海外市場（但し、米国及びカナダを除く。）における新株（発行済株式総数5,362,900株）を発行しておりますが、前回発表予想につきましては上記株式数を加味しておらず、今回修正予想において上記株式数を加算したうえで基本的1株当たり当期利益を算定しております。

## 2. 業績予想修正の理由

当社グループは、中期経営計画「Digitize & Digitalize Japan」を掲げ、日本のデジタルトランスフォーメーション市場においてリーダーの地位を確立すべく、NEW-IT トランスフォーメーション事業・投資事業・パブリック事業を柱として、「人×技術」で日本の生産性を飛躍的に向上させるビジネスを展開しております。

当社グループの第2四半期連結累計期間（2020年10月1日～2021年3月31日）において、売上収益10,262百万円、営業利益5,319百万円、税引前利益5,264百万円、四半期利益3,441百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益3,467百万円を計上し、2021年5月13日に公表した2021年9月期の通期連結業績予想における、営業利益、税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益を超過する順調な進捗となりました。第3四半期連結会計期間（2020年4月1日～2020年6月30日）においても、売上収益2,611百万円、営業利益492百万円、税引前利益484百万円、四半期利益315百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益300百万円と、売上収益及び利益を積み増しすることができ、営業利益、税引前利益、当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益については、通期連結業績予想を超えることが現実視されることから、今回の上方修正を行います。

当社グループの各セグメントにおける上方修正の要因は次の通りです。

NEW-IT トランスフォーメーション事業においては、大企業や官公庁向けのデジタル化プロジェクトを推し進めるとともに、2021年4月より KDDI 株式会社との合弁会社として設立した株式会社デジタルグロースアカデミアの営業開始に伴うデジタル人材育成関連の案件の加速、2021年3月に買収をした株式会社ビーキャップの業績への寄与が進んでおります。

パブリック事業においては、2020年4月からのふるさと納税プラットフォームビジネスでの手数料率の引き上げ等により大幅な収益増加となりました。また、地方自治体向け SaaS ビジネスである LoGo チャット及び LoGo フォームの有償化を2021年4月から開始し、ユーザーからの高い評価を得て順調に拡大しております。

投資事業においては、第2四半期連結累計期間（2020年10月1日～2021年3月31日）においては投資先の上場企業の株価が堅調に推移していたものの、第3四半期連結会計期間（2021年4月1日～2021年6月30日）に入り、グロース株を中心とした保有する一部の企業の株価が軟調に推移しております。

2021年2月15日に2022年10月から2024年9月までの3カ年の次期中期経営計画「Digitize & Digitalize Japan (Phase2)」を発表し、「Digital」×「Local」×「Social」を掲げ、デジタル技術を活用することで地域が抱える社会課題を解決し、地域を持続可能にすべく様々な取り組みを開始しております。第4四半期連結会計期間（2021年7月1日～2021年9月30日）においては、優秀な人材確保や、デジタル化を推し進める SaaS やプラットフォームの開発、経営体制の強化のための投資を行い、次期中期経営計画の達成に向けて全力で社業の発展に尽くす所存でございます。

※上記業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上